



BNY MELLON
INVESTMENT MANAGEMENT

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2010年1月12日から2020年11月27日まで
運用方針	主としてブラジル企業の株式に投資することにより、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
主要運用対象	ブラジル企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時（原則として毎年6月15日および12月15日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

BNYメロン・ブラジル・ インフラ・消費関連株式ファンド (愛称：ブラジルの奇跡)

追加型投信／海外／株式

償還運用報告書（全体版）

第22期（償還日：2020年11月27日）

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「BNYメロン・ブラジル・インフラ・消費関連株式ファンド（愛称：ブラジルの奇跡）」は、2020年11月27日に繰上償還となりました。

謹んで運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、みなさまのご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

運用商品開発部

電話番号：03-6756-4600（代表）

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページ <https://www.bnymellonam.jp/>

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数 ボベスパ指数(円換算ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率		期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
18期(2018年12月17日)	9,347	0	19.5	6,742	22.1	97.5	—	527
19期(2019年6月17日)	10,078	0	7.8	7,269	7.8	96.7	—	422
20期(2019年12月16日)	11,529	0	14.4	7,971	9.7	97.0	—	438
21期(2020年6月15日)	7,865	0	△31.8	5,239	△34.3	95.3	—	274
(償還時)	(償還価額)							
22期(2020年11月27日)	7,387.91	—	△6.1	5,725	9.3	—	—	263

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

(注) ボベスパ指数(円換算ベース)は、基準価額算出を考慮し、基準日前日の指数に基準日当日の為替レートを乗じた数値を用いて設定日の前日を基準に指数化しております。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数 ボベスパ指数(円換算ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率
		騰落率		騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2020年6月15日	7,865	—	5,239	—	95.3	—
6月末	7,608	△3.3	5,074	△3.1	95.5	—
7月末	8,474	7.7	5,663	8.1	97.6	—
8月末	8,024	2.0	5,310	1.4	95.7	—
9月末	7,033	△10.6	4,671	△10.8	97.6	—
10月末	7,418	△5.7	4,646	△11.3	—	—
(償還時)	(償還価額)					
2020年11月27日	7,387.91	△6.1	5,725	9.3	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ボベスパ指数(円換算ベース)は、基準価額算出を考慮し、基準日前日の指数に基準日当日の為替レートを乗じた数値を用いて設定日の前日を基準に指数化しております。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。

◆設定来の基準価額推移



当ファンドは、2010年1月12日に設定され、2020年11月27日に償還となりました。1万口当たりの償還価額は7,387円91銭、信託期間中の収益分配の累計は510円（税込み）でした。

みなさまのご愛顧に感謝申し上げます。

◆基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてブラジルのインフラ・消費に関連する企業の株式の中から銘柄を厳選してポートフォリオを構築しました。市場の概況と基準価額の主な変動要因は以下の通りでした。

第1期（期中騰落率△11.8%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は△14.2%の下落となりました。

（基準価額の下落要因）

商品価格が軟調に推移したことから、鉱山会社ヴァーレや製鉄会社ゲルダウなどが下落したこと。

第2期（期中騰落率16.6%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は5.7%の上昇となりました。

（基準価額の上昇要因）

商品価格が大幅な上昇となったため、鉱山会社ヴァーレが上昇したほか、ブラジル最大の道路運営会社であるコンセソン・エスロドビアリアも上昇したこと。

第3期（期中騰落率△0.3%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は△6.8%の下落となりました。

（基準価額の下落要因）

ブラジル第2位の鉄鋼メーカー、ウジミナスは中国景気の減速懸念等から軟調な展開となったこと。

第4期（期中騰落率△22.8%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は△25.8%の下落となりました。
（基準価額の下落要因）

資源価格の下落や中国景気の減速懸念等から鉄鉱石生産大手のヴァーレーや、製鉄会社のゲルダウ等の株価が大きく下落したこと。

第5期（期中騰落率5.8%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は△9.0%の下落となりました。
（基準価額の上昇要因）

株式市場が軟調な推移となる中、運輸セクターにおいて高速道路管理会社のCCRや、素材セクターにおいて製鉄会社のゲルダウといった銘柄の株価が大きく上昇したこと。

第6期（期中騰落率13.2%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は12.2%の上昇となりました。
（基準価額の上昇要因）

素材セクターにおいて再生木質ボードの製造を手掛けるデュラテックスや小売セクターにおいてチェーン店を展開するロハス・アメリカナスといった銘柄の株価が大きく上昇したこと。

第7期（期中騰落率4.4%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は△9.6%の下落となりました。
（基準価額の上昇要因）

- ・2012年12月末～2013年初、米国で「財政の崖」が当面回避されたことで、株式市場が堅調に推移したこと。
- ・2012年12月～2013年5月、ブラジル政府がインフレ抑制のためにブラジルリアル高を容認する姿勢をみせたこと。

第8期（期中騰落率1.3%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は2.1%の上昇となりました。
（基準価額の上昇要因）

- ・2013年7月半ば～10月下旬、米国での量的金融緩和と政策が当面継続されるとの見通しから、株式市場が堅調に推移したこと。
- ・2013年8月下旬～10月中旬、シリア情勢の緊張緩和や中国経済に対する今後の見通しが改善したことなどからブラジルリアル高となったこと。

第9期（期中騰落率2.7%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は13.4%の上昇となりました。
（基準価額の上昇要因）

- ・2014年3月中旬以降、米国主導でのグローバル景気回復期待が高まったこと。
- ・2014年10月のブラジル大統領選挙で、政権交代への期待が高まったこと。

第10期（期中騰落率△14.1％）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボブスバ指数（円換算ベース）の騰落率は△14.7％の下落となりました。

（基準価額の下落要因）

- ・2014年9月上旬～10月下旬、大統領選においてルセフ大統領の再選観測が高まったことや、原油価格の下落を受けてエネルギー関連株が軟調になったこと、またペトロブラスによる汚職事件などが嫌気されたことから、株価が下落したこと。
- ・2014年12月上旬、世界的にリスク回避姿勢が強まる中で、相対的な安全資産である円が買われる形となり、対ブラジルリアルでも円高となったこと。

第11期（期中騰落率△2.3％）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボブスバ指数（円換算ベース）の騰落率は△1.5％の下落となりました。

（基準価額の下落要因）

- ・2015年1月上旬～2月中旬、原油価格の下落を受けてエネルギー関連株が軟調になったことや、ペトロブラスの信用格付けのムーディーズによる投資不適格への引き下げなどが嫌気され、株価が下落したこと。
- ・2015年3月上旬～3月中旬、大統領に対する全国規模での抗議デモや、原油やその他商品価格の下落を背景に貿易収支の赤字幅が拡大したこと、景気低迷が継続する中インフレ抑制のため中央銀行が利上げに踏み切ったことなどから株価が下落したこと。

第12期（期中騰落率△29.1％）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボブスバ指数（円換算ベース）の騰落率は△33.7％の下落となりました。

（基準価額の下落要因）

- ・2015年6月下旬～9月下旬、第2四半期の国内総生産（GDP）が2四半期連続でマイナス成長となったことや、米大手格付け会社のスタンダード・アンド・プアーズ（S&P）がブラジルの外貨建て長期価格付けを投資適格級から投機的等級に引き下げたこと、原油価格の下落を受けてエネルギー関連株が軟調になったことや、ルセフ大統領が財政改善に苦慮していることなどが嫌気され株価が下落したこと。
- ・2015年11月下旬～12月中旬、国営石油会社ペトロブラスを巡る汚職疑惑による与党議員逮捕や、ルセフ大統領の弾劾手続き開始などによる政治不安の広がり、第3四半期のGDPが3四半期連続のマイナス成長となったことなどにより株価が下落したこと。

第13期（期中騰落率3.2％）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボブスバ指数（円換算ベース）の騰落率は5.9％の上昇となりました。

（基準価額の上昇要因）

- ・2016年2月上旬～4月下旬まで、議会在ルセフ大統領の弾劾手続きを可決したこと、鉄鉱石などの資源価格の上昇、米国の利上げペースがより慎重になったとの見方が広がったことなどが好感され、株価が上昇したこと。

第14期（期中騰落率25.0%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は37.2%の上昇となりました。

（基準価額の上昇要因）

- ・2016年6月中旬～7月下旬、汚職疑惑で窮地に立たされていたルセフ大統領が弾劾裁判で罷免され、大統領代行から正式に就任したテメル大統領とメイレス財務相による経済再建への期待から株価が上昇したこと。
- ・2016年9月中旬～10月下旬、政治改革期待の高まりや、鉄鉱石や原油価格の上昇により資源関連株が堅調に推移したこと及びブラジル中央銀行が4年振りに政策金利を引下げたことなどが好感され株価が上昇したこと。

第15期（期中騰落率3.2%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は2.0%の上昇となりました。

（基準価額の上昇要因）

- ・2016年12月下旬～2017年2月中旬、米国の長期金利上昇に一服感が出たことやインフレ率の低下などを背景としたブラジル中央銀行による政策金利引き下げを受け、投資家のリスク選好度が強まったこと。
- ・2017年4月中旬～5月中旬、財政健全化への期待やフランスの大統領選挙で中道派のマクロン氏が勝利したことなどを材料に楽観的な見通しが強まったこと。

第16期（期中騰落率19.8%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は17.7%の上昇となりました。

（基準価額の上昇要因）

- ・2017年7月上旬～10月上旬、世界的な景気回復が進む中、ブラジルにおいてもインフレの沈静化を受けてブラジル中銀(BCB)による政策金利の引き下げが実施されたことなどをを受けて投資家のリスク選好度が強まったこと。
- ・2017年7月上旬～10月上旬、ブラジル経済が回復の兆しを示す中、日本円に対してブラジルレアル高が進行したこと。

第17期（期中騰落率△15.6%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は△14.9%の下落となりました。

（基準価額の下落要因）

- ・2018年5月半ばから期末にかけて、ブラジル大統領選挙に対する不透明感が強まったことなどをを受けて、ブラジル株式市場が下落したこと。
- ・2018年2月から期末にかけて、ブラジルレアルが軟調に推移したこと。

第18期（期中騰落率19.5%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は22.1%の上昇となりました。

（基準価額の上昇要因）

- ・期初から2018年8月前半にかけて米中通商問題に対する懸念が後退し、世界的にリスクオンの相場展開となったこと。
- ・2018年10月の大統領選挙において右派であるボルソナロ氏の勝利を株式市場が好感したこと。

第19期（期中騰落率7.8%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は7.8%の上昇となりました。

（基準価額の上昇要因）

- ・2019年1月、米連邦準備制度理事会（FRB）高官が早期利上げ停止の可能性を示唆したことやブラジルの構造改革に対する期待などから、ブラジル株式市場が上昇したこと。

第20期（期中騰落率14.4%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は9.7%の上昇となりました。

（基準価額の上昇要因）

- ・ブラジル中央銀行による利下げを含む主要国の金融緩和や米中貿易摩擦懸念の後退などを背景にブラジル株式市場が上昇したこと。

第21期（期中騰落率△31.8%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は△34.3%の下落となりました。

（基準価額の下落要因）

- ・新型コロナウイルスの影響が欧米を含むグローバルに拡大を見せ、ヒトやモノの動きが制限される中で、市場のリスク回避姿勢が急速に高まり2020年2月下旬から3月下旬にかけてブラジル株式市場が大きく下落したこと。
- ・2020年入り後、中国にとどまらずグローバルに新型コロナウイルスの感染が拡大する中、原油価格の急落、ブラジル国内での大規模な感染拡大や政治的な混乱が嫌気され、5月中旬にかけて大幅なブラジルリアル安が進行したこと。

第22期（期中騰落率△6.1%）

（市場の概況）

ブラジルの代表的な株式指数であるボベスパ指数（円換算ベース）の騰落率は9.3%の上昇となりました。

（基準価額の下落要因）

- ・2020年8月から9月末にかけて経済支援策を巡り大統領と経済相の対立が懸念されたことに加えて、欧州での新型コロナウイルス感染再拡大を受けた景気悪化懸念などからブラジル株式市場が下落したこと。

（運用概況）

当期は、一般消費財・サービスセクター、公益事業セクター、素材セクターへの配分を多めとしました。

なお、保有株式はファンド償還に向けて10月下旬に売却しました。

■ 1 万口当たりの費用明細

(2020年6月16日～2020年11月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬	72	0.930	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、7,711円です。
(投信会社)	(35)	(0.448)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(35)	(0.448)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.035)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	12	0.158	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(12)	(0.158)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	47	0.604	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(44)	(0.573)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(印刷)	(2)	(0.025)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
(その他)	(1)	(0.007)	金融商品取引に要する諸費用
合 計	131	1.692	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

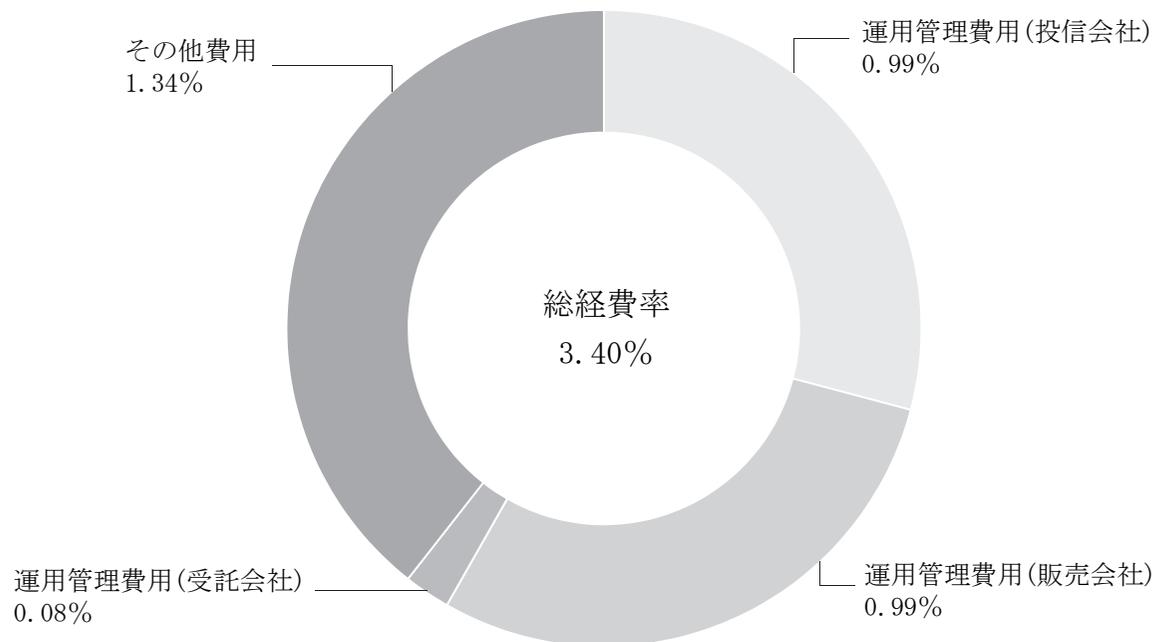
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.40%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況
株式

(2020年6月16日～2020年11月27日)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ブラジル	百株	千ブラジルリアル	百株	千ブラジルリアル
		1,297 (257)	2,929 (235)	7,719 (13)	16,356 (45)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	ブラジル	—	千ブラジルリアル	758	千ブラジルリアル
		(758)	— (—)		2

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ()内は権利行使および権利行使期間満了等による増減分です。

■株式売買比率

(2020年6月16日～2020年11月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	355,614千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	295,903千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.20

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日～2020年11月27日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
新株予約権証券	58	—	—	296	—	—
為替直物取引	—	—	—	0.04975	—	—
	452	384	85.0	702	384	54.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはTHE BANK OF NEW YORK MELLONです。

■組入資産の明細
外国株式

2020年11月27日現在、有価証券等の組入れはございません。前期末の組入れは以下の通りでした。

銘柄	前 期 末			業 種 等
	株 数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(ブラジル)	百株	千ブラジルリアル	千円	
VALE SA	94	501	10,656	素材
CIA PARANAENSE DE ENERGI-PFB	69	444	9,427	公益事業
TIM PARTICIPACOES SA	90	129	2,739	電気通信サービス
CENTRAIS ELETRICAS BRASILEIRAS S.A.-ELEC	1	3	66	公益事業
CENTRAIS ELETRICAS BRASILIER	71	212	4,512	公益事業
BANCO DO BRASIL S.A.	114	380	8,071	銀行
USINAS SIDER MINAS GER-PF A	308	197	4,191	素材
LOJAS AMERICANAS SA-PREF	35	111	2,377	小売
LOJAS AMERICANAS S.A.	45	118	2,522	小売
GERDAU SA-PREF	120	166	3,540	素材
METALURGICA GERDAU SA-PREF	187	122	2,594	素材
PETROBRAS - PETROLEO BRAS	144	305	6,493	エネルギー
PETROBRAS DISTRIBUIDORA SA	123	275	5,854	小売
PETROBRAS - PETROLEO BRAS-PR	146	300	6,385	エネルギー
SANTOS BRASIL PARTICIPACOES SA	172	92	1,971	運輸
CCR SA	182	262	5,575	運輸
TUPY S.A.	80	149	3,167	自動車・自動車部品
BANCO BRADESCO SA	234	506	10,754	銀行
CIA HERING	104	147	3,133	耐久消費財・アパレル
BRADSPAR S.A.	75	265	5,636	素材
SUZANO PAPEL E CELULOSE S.A.	27	102	2,183	素材
CPFL ENERGIA SA	36	116	2,469	公益事業
ITAU UNIBANCO HOLDING SA	78	204	4,343	銀行
IOCHPE-MAXION SA	72	103	2,203	資本財
LOCALIZA RENT A CAR SA	34	140	2,979	運輸
LOJAS RENNER S.A.	39	170	3,623	小売
EDP - ENERGIAS DO BRASIL SA	59	107	2,287	公益事業
ULTRAPAR PARTICIPACOES SA	52	93	1,986	エネルギー
COSAN SA	18	118	2,512	エネルギー
LIGHT SA	173	277	5,884	公益事業
CIA SANEAMENTO MINAS GERAIS	28	156	3,331	公益事業
EQUATORIAL ENERGIA SA ORD	69	149	3,164	公益事業
EMBRAER SA	88	77	1,647	資本財
CIA ENERGETICA DE SP-PREF B	108	299	6,367	公益事業
B2W CIA DIGITAL	52	521	11,063	小売
BR MALLS PARTICIPACOES SA	355	383	8,132	不動産
JBS SA	51	112	2,379	食品・飲料・タバコ
VULCABRAS AZALEIA SA	84	43	929	耐久消費財・アパレル
CIA ENERGETICA MINAS GER-PREF	149	164	3,489	公益事業
MARFRIG GLOBAL FOODS SA	144	185	3,946	食品・飲料・タバコ

銘 柄	前 期 末			業 種 等	
	株 数	評 価 額			
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(ブラジル)	百株	千ブラジルリアル	千円		
MRV ENGENHARIA	129	210	4,477	耐久消費財・アパレル	
SUL AMERICA SA - UNITS	45	201	4,276	保険	
AREZZO INDUSTRIA E COMERCIO SA	20	87	1,855	耐久消費財・アパレル	
MAGAZINE LUIZA SA	41	262	5,571	小売	
QUALICORP CONS E CORR SEG SA	33	85	1,820	ヘルスケア機器・サービス	
ENERGISA SA-UNITS	27	131	2,795	公益事業	
ECORODOVIAS INFRA E LOG SA	83	112	2,378	運輸	
CIELO SA	130	55	1,167	ソフトウェア・サービス	
VIA VAREJO SA	319	467	9,914	小売	
LINX SA	98	189	4,027	ソフトウェア・サービス	
AZUL SA	37	81	1,737	運輸	
HAPVIDA PARTICIPACOES E INVE	72	434	9,215	ヘルスケア機器・サービス	
ATACADAO DISTRIBUICAO COMERC	84	155	3,299	食品・生活必需品小売り	
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO	17	84	1,799	各種金融	
AMBEV SA	37	50	1,065	食品・飲料・タバコ	
CVC BRASIL OPERADORA E AGENCIA	44	91	1,943	消費者サービス	
LOG COMMERCIAL PROPERTIES E	10	29	625	不動産	
COGNA EDUCACAO	157	99	2,116	消費者サービス	
KLABIN SA - UNIT	22	42	898	素材	
YDUQS PART	29	96	2,058	消費者サービス	
NATURA & CO HOLDING SA	35	140	2,973	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ALIANSC E SONAE SHOPPING CENT	75	214	4,555	不動産	
VIVARA PARTICIPACOES SA	42	82	1,750	小売	
NATURA & CO HOLDING SA-RIGHTS	1	1	38	家庭用品・パーソナル用品	
BANCO PAN SA	275	246	5,236	銀行	
RUMO SA	25	61	1,302	運輸	
AES TIETE ENERGIA SA-UNIT	137	191	4,060	公益事業	
BANCO BTG PACTUAL SA-UNIT	32	201	4,280	各種金融	
合 計	株 数 ・ 金 額	6,178	12,333	261,843	
	銘 柄 数 < 比 率 >	68	-	<95.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、期首、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

(注) ー印は組み入れなし。

■投資信託財産の構成

(2020年11月27日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	267,116	100.0
投資信託財産総額	267,116	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2020年11月27日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	267,116,424
コール・ローン等	267,116,424
(B) 負債	3,217,432
未払解約金	345,545
未払信託報酬	2,780,279
その他未払費用	91,608
(C) 純資産総額(A - B)	263,898,992
元本	357,203,689
償還差損金	△ 93,304,697
(D) 受益権総口数	357,203,689口
1万口当たり償還価額(C / D)	7,387円91銭

(注) 当ファンドの期首元本額は349,457,369円、期中追加設定元本額は121,346,907円、期中一部解約元本額は113,600,587円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.738791円です。

■損益の状況

(2020年6月16日～2020年11月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,242,495
受取配当金	2,241,677
受取利息	818
(B) 有価証券売買損益	△ 15,901,262
売買益	31,308,951
売買損	△ 47,210,213
(C) 信託報酬等	△ 4,596,288
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 18,255,055
(E) 前期繰越損益金	△ 42,640,646
(F) 追加信託差損益金	△ 32,408,996
(配当等相当額)	(54,480,426)
(売買損益相当額)	(△ 86,889,422)
償還差損金(D + E + F)	△ 93,304,697

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 運用の指図に係る権限を委託するために要する費用として委託者報酬から支弁している額；信託財産の純資産総額に年0.63%を乗じて得た額

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2010年1月12日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年11月27日				
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	資 産 総 額	267,116,424円	
					負 債 総 額	3,217,432円
受益権口数	16,145,776,888口	357,203,689口	△15,788,573,199口	純 資 産 総 額	263,898,992円	
				受 益 権 口 数	357,203,689口	
元 本 額	16,145,776,888円	357,203,689円	△15,788,573,199円	1 万口当たり償還金	7,387.91円	
毎計算期末の状況						
計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万口当たり分配金		
				金 額	分 配 率	
第 1 期	22,596,203,787円	19,933,631,593円	8,822円	0円	0.0000%	
第 2 期	8,594,453,242	8,596,936,184	10,003	280	2.8000	
第 3 期	5,351,830,169	5,295,619,418	9,895	80	0.8000	
第 4 期	3,965,233,937	3,027,017,668	7,634	0	0.0000	
第 5 期	3,442,893,340	2,781,132,883	8,078	0	0.0000	
第 6 期	2,560,979,486	2,304,433,183	8,998	150	1.5000	
第 7 期	2,186,891,157	2,054,022,617	9,392	0	0.0000	
第 8 期	1,710,327,774	1,626,706,694	9,511	0	0.0000	
第 9 期	1,250,486,826	1,221,949,878	9,772	0	0.0000	
第 10 期	1,284,316,475	1,077,522,072	8,390	0	0.0000	
第 11 期	1,223,032,601	1,002,744,768	8,199	0	0.0000	
第 12 期	896,922,476	521,436,400	5,814	0	0.0000	
第 13 期	803,225,848	481,777,310	5,998	0	0.0000	
第 14 期	818,623,616	613,546,466	7,495	0	0.0000	
第 15 期	688,532,994	532,674,007	7,736	0	0.0000	
第 16 期	613,592,710	568,761,743	9,269	0	0.0000	
第 17 期	635,744,917	497,440,909	7,825	0	0.0000	
第 18 期	564,293,901	527,434,056	9,347	0	0.0000	
第 19 期	419,284,723	422,551,881	10,078	0	0.0000	
第 20 期	380,423,594	438,585,394	11,529	0	0.0000	
第 21 期	349,457,369	274,852,101	7,865	0	0.0000	

■償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	7,387円91銭
----------------	-----------

■お知らせ

●繰上償還について

当ファンドは、繰上償還（信託終了）に関して、2020年10月20日に書面決議を行いました。その結果、書面決議において、繰上償還（信託終了）が可決されたため、2020年11月27日をもって、償還することとなりました。みなさまのご愛顧に対し、厚く御礼申し上げます。